

# WEB版♥甲子園短期大学通信

2022年度-Vol.1

令和4年4月30日発行

## 令和四年度・入学式



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和四年度の入学式も、対面と遠隔を利用したハイブリッド形式で実施されました。新生は大講義室にて対面で参加し、Ⅱ回生は学科ごとに別教室で、また来賓並びに保護者の皆様には遠隔にてご視聴頂きました。

当日は玄関にての検温・手指消毒を徹底し、学生同士や教職員との間隔を十分にとり、教室の換気も徹底した感染防止対策を行い、会場環境を準備しました。

式は早坂三郎学長からの祝辞、続いて新生代表の宣誓があり、厳粛な内に終了しました。

その後、新生は短期大学での学生生活の概要を理解するためのスタートアップガイダンスを受講しました。

短期大学では、受け身の学びではなく、主体的で積極的な深い学びが求められます。自らの夢や目標に向かって、確かに歩んでいくことが期待されます。

## 教員コラム

【時間の花咲く今】

特任教授 吉長 成恭



芸術と科学が一緒の頃も、今のよう  
にアートとサイエンスが袂(たもと)を分かってからも、文明はいつも目に見えないものを可視化する科学の進歩によって開花してきました。見えなかった移り行く時間は、天文学によって時計が発明され可視化できるようになりました。距離を時間で割れば速度で表され、体感を共通理解することができます。学問や芸術は見えないものを見える化することで科学の進化に繋がり、豊かな文化を醸成し、新しい時代へ文明が花開きます。いつもの通学路で足もとに咲くタンポポの穂が地球儀のように丸い形になったころ、5分間立ち止まって、摘み取って保存してみましよう。今年、来年。

写真は、1992年から

2001年まで二十世紀末

の十年間を種のチカフをかりて

見える化してみました。

今年も見えない思い出の花と未来の花がここに咲いています。

